



アミューズメント/飲食

▶従業員 約2,000人(グループ) ▶主な効果 現場からいつでもビデオ会議に参加

# ひぐちグループ様

モバイル端末を駆使したインフラを構築。  
長崎本社と多業種の店舗を結ぶコミュニケーション、  
店舗間のノウハウ共有が実現。

九州全域に点在する拠点との  
ビデオコミュニケーションが可能に。

複数人が会議に参加する拠点では固定タイプ、確認すべき箇所の多い店舗ではモバイル端末と、シチュエーションに合わせて機器を使い分けることで合理的な運用を実践。

福岡  
支社



長崎  
本社



パチンコ事業  
「諫早・佐世保」  
4店舗

アルترون  
営業部

パチンコ事業  
「長崎市内」  
12店舗

パチンコ事業  
「北九州・佐賀・大分」  
3店舗

まるみつ浜線店



幸咲屋博多店



パチンコ事業  
「熊本・鹿児島・宮崎」  
7店舗



## ひぐちグループ

本社所在地：  
〒850-8585  
長崎市西坂町2-3長崎駅前  
第一生命ビル  
設立：1950年  
ウェブサイト：  
<http://www.higuchi-gr.co.jp/>

「さまざまな娯楽を通じてより多くの人々に『憩いと安らぎ』を提供すること」を企業理念に、九州全域においてパチンコ事業、外食事業、オーディオビジュアル事業を推進。従業員数約2,000名。株式会社ひぐち、三宝商事株式会社、さらに不動産業を担う三巴産業などで構成される企業グループです。

本部機能を持つ長崎本社および福岡支社と各店舗を結ぶビデオ会議をポリコムで実現。今後は拠点間での情報共有や、パチンコ店・全26店舗の店長会議、社員研修などにも積極的に活用する予定。

### ■導入システム一覧

ビデオ会議システム(各拠点端末)

- RealPresence Group 500  
EagleEye IV-12xカメラモデル
- RealPresence Group 310  
EagleEye IV-4xカメラモデル
- RealPresence Group 310搭載  
一体型コンパクト  
ビデオ会議ステーション
- RealPresence Mobile (iPad)

多地点接続サーバー

- RealPresence Collaboration  
Server (RPCS) 1800  
10HD720p30/30SDポート構成

運用・管理サーバー

- EdgeProtect 7300  
10セッションモデル  
(Edgewater Networks社製)

機能拡張アプリケーションサーバー

- RealPresence Media Suite  
会議録画・配信サーバー

### 課題

- ▶ 遠隔地にある店舗の状況も本部で的確に把握したい
- ▶ 会議に参加するための時間とコスト、移動時の事故リスクを軽減したい
- ▶ 工事中の店舗とのやりとりも多い中、強固なセキュリティを確保したい
- ▶ 新年度に向けた社長の意思決定や営業成績などを全社で共有したい

### 効果

- 店舗のリアルタイムな状況を**モバイル端末**から映像で伝達
- 高画質なビデオ会議システムにより、移動に伴う**無駄やリスクを解消**
- EdgeProtectの導入で、常に**セキュアな通信を実現**
- 会議録画・配信サーバーを活用し、**会議の全容**を映像で各拠点に配信

モバイル端末を駆使することで、  
九州全域に広がる各店舗から  
いつでも自在にビデオ会議に  
参加できる環境が整いました。



Hiroshi Fukuda

福田 弘寿 様  
ひぐちグループ  
アルロン営業部 業務課  
課長



Hiroki Ishida

石田 寛貴 様  
ひぐちグループ  
アルロン営業部 業務課



Yusuke Kakita

柿田 裕介 様  
ひぐちグループ  
総務部 総務課

## 熊本地震をきっかけに、 グループ内の通信手段と情報共有の ためのシステムを本格的に導入

九州7県に26店舗を展開するパチンコ事業をはじめ、レストランや割烹を運営する外食事業、オーディオビジュアル事業などを行うひぐちグループ様。

長崎の本社と、店舗に関わる不動産業務などを担う福岡支社が本部機能を有し、事業所数は全68カ所。1950年創業の豊富な実績を礎に、近年も積極的な事業拡大に取り組み、成長・発展を続ける企業グループです。

数年前から内部の通信手段や情報共有ツールを検討されていましたが、新たなシステムを本格的に導入するきっかけのひとつとなったのは、2016年4月に発生した熊本地震でした。

グループ内におけるシステムの導入・運用を担当するアルロン営業部の福田氏は「熊本市内の店舗の状況が、電話での報告だけでは的確に把握できない。そこで、調査メンバーを長崎から派遣しました。ただし、彼らも二次災害に遭う可能性があるわけですから、その時こそ『遠隔地の状況を映像で確認できるシステムがあれば良かった』と痛感しました」と話します。

## ハイクオリティな コミュニケーションを支える システムを求めてポリコムを選定

「本部と各店舗間の会議や打ち合わせの度に社員が移動すると相当の時間とコストがかかるし、車を運転すれば事故のリスクもあります。五島列島にも店舗がありますが、本部のメンバーが行き来するのも大変な労力がかかります。コミュニケーションと情報共有を行うためのシステムの導入は、当グループにとって大きな意義があったのです」と話すのは総務部の柿田氏。

実は、ビデオ会議システムの導入前にも、一部ではパソコンによるWeb会議システムやSkypeなどを活用していたとのこと。ただし、それらはセットアップに時間がかかり、画質も満足できるレベルではなかったため、なかなか活用が進まなかったそうです。

そこで、機器の選定にあたっては使いやすさと画質のクオリティを重視し、数社のビデオ会議システムを比較検討。最終候補としてポリコムのビデオ会議システム（以下、ポリコム）を含む2社の製品に絞り込みました。

「双方のスペックは両極端でした。もう1社の製品は、従来のWeb会議システムの延長線にあるものに過ぎず、画質や動きの粗さ

まるみつ  
長与店

パチンコ店舗の状況を、長崎本社に居ながらにして映像で把握できるシステムを構築。それにより、社員の移動に費やしていた時間とコストを大幅に軽減することに成功。



長崎本社

幸咲屋  
博多店

以前は福岡のそば店に長崎本社の担当者が出張して店舗運営に関する会議を行っていたが、ポリコムの導入により移動のロスが解消。会議の頻度も増えた。

は否めませんでした。もちろんコストは抑えられますが、『しっかりコミュニケーションがとれる高性能なシステムを』という方針を固めてポリコムに決めたのです」と福田氏。

本社と支社にルームタイプの端末を、各県の拠点となるパチンコ店、アルトロン営業部にはプリンストンオリジナルの一体型システム（コンパクトビデオ会議ステーション）をそれぞれ常設設置。そして、どこからでもビデオ会議に参加することのできるモバイル端末を、パチンコ事業の全店舗と外食事業の拠点数か所、アルトロン営業部に配置しました。

一方、ひぐちグループ様では情報セキュリティも重視しており、その強化のためにネットワーク内外でのセキュアな接続を実現する『EdgeProtect』を導入。グループのVPNに属していない部署や工事中の店舗などのやりとりが多い中、『EdgeProtect』により高度なセキュリティの確保を図っています。

併せて、会議録画・配信サーバー「Media Suite」も採用。それについてアルトロン営業部の石田氏は「毎年度、社長による意思決定や営業成績など、各拠点の代表者が集まり共有する場がありますが、必ずしも全員が出席できるわけではありません。不参加メンバーに、テキストでの要点報告や伝言だけでは意図が伝わらないことが多い為、会議の全容を映像で見せることのできる環境が必要でした」と説明します。

このようにコミュニケーションや情報共有をセキュアな環境で実現する仕組みが構築されました。

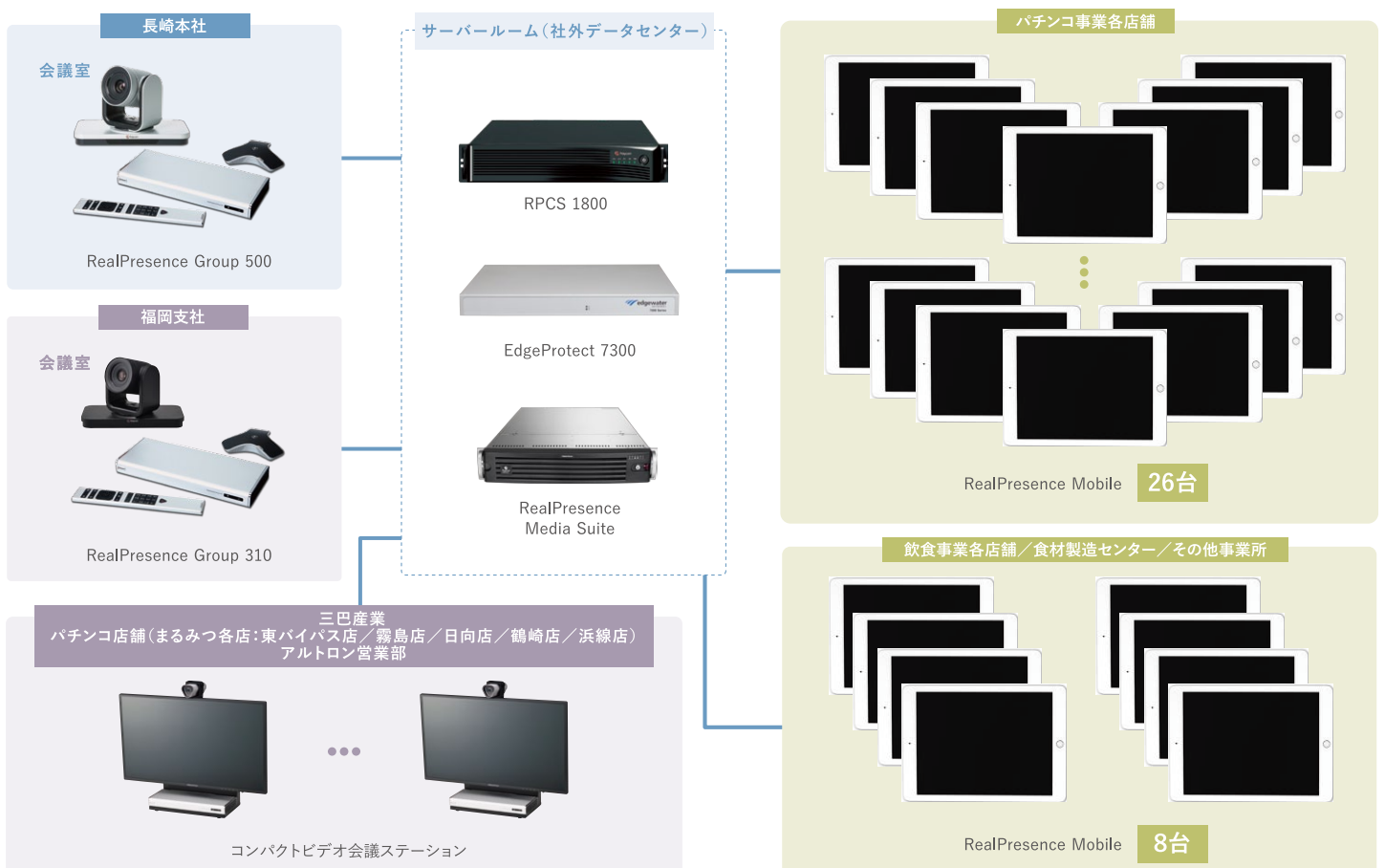
## モバイル端末の特性を活かして、 店舗の建築工事の 進捗レポートなどで活用

ひぐちグループ様が新たに構築したシステムの特徴は、多数のモバイル端末を駆使していること。九州全域において積極的な出店を行う同グループにとって、それは大きなメリットがあります。モバイル端末であれば、店舗が頻繁に増えても、コスト面も含め全体の端末構成を柔軟に組みやすく、移動しながら本部に状況を報告したい場合でもその特性を最大限に活かせます。

たとえばアルトロン営業部では、新店舗の建築やリニューアル工事においてもモバイル端末をフル活用しています。「店舗内には本部が確認したい様々なスペースがあるので、モバイル端末は重宝します」。スタッフが現地へ赴き、工事の進捗を手に持った端末から本部に映像で逐次伝達。「目で確認すれば現場の状況がよくわかるので、円滑に指示を出せます。特に、正確な位置を知りたい時、あるいは仕上がったデザインや色彩をチェックしたい時、画質に優れたポリコムは非常に役立ちます」と福田氏。

現在、パチンコ店舗をはじめ、福岡の飲食店舗、長崎の食材製造センターと本部を結ぶコミュニケーションでもモバイル端末は威力を発揮。もちろん工事の進捗状況の共有だけでなく、本社営業部と各店舗の店長との日常的な打ち合わせにも活用されています。「営業方針や年間計画などについて話し合う時、ポリコムなら

### [システム概要]



相手の表情や細かなジェスチャーを目視できるし、同じ資料を手にとって『いまこの話をしている』ということを確認できるので、打ち合わせがスムーズに進みます」と柿田氏。

また、各拠点で人材を採用する際は面接でも活用し、人事採用担当者は本社に居ながらにして対象勤務地の面接を実施することが可能になりました。

## 優良店のアイデアの共有、 全店舗による会議など、 多彩に活用できる情報インフラが完成

ポリコムの導入から半年でビデオ会議の予約がかなり入り、着実に同グループ内に浸透しつつあります。

「使いやすいので、当初から基本的な操作に関する問い合わせはほとんどなく、主にカメラのズーム操作や画面のレイアウト変更の仕方などを尋ねられることが多いです」と石田氏。その言葉を受けて福田氏は「システムの運用を管理する立場としては、予想以上に問い合わせが少なくて助かっています」と話します。

ポリコムの画質に対するグループ内の評価も高く、石田氏も「以前のシステムは画質が粗いこともあり1対1の打ち合わせでしか使っていませんでした。ポリコムなら数名を相手にしてもそれぞれの表情が読み取れるので満足しています。18拠点での同時接続を実施しましたが、まったく問題なく会議が行えました」と話します。

今後同グループでは、ポリコムをさらに活用することを計画しています。現在メインで活用しているパチンコ事業以外に、福岡に新規オープンしたそば店の店づくりに使用。試行錯誤の中で先方の状況を密に把握し、より味わいのある店を目指しています。

さらにポリコムの『店舗標準化』、パチンコ店26店舗の店長全員が参加するリアルタイムな会議の実施、外食事業やオーディオビジュアル事業の全店舗への導入など、将来への構想はふくらみます。



モバイル端末を活用することで、工事中のパチンコ店舗の状況を映像も駆使して本部に報告。それにより、本部の担当者は工事の進捗をよりの確かかつ円滑に把握することが可能に。

「今後は店舗同士の横のつながりにも活用したいです。パチンコ店では賞品のディスプレイ方法を実際に見ながら店舗間で共有するといったことが、モバイル端末の活用で実現できると考えています」と福田氏。

その一方で、会議録画・配信サーバーを活用し、本部から各店舗へ社内研修内容を配信することも検討しています。店舗は日々運営されているので、スタッフが研修のために数日抜けることは大変な負担になります。それを1日数時間ずつ各店舗で映像で受講するにすれば、移動や宿泊の費用を軽減できるだけでなく、本業に支障を与えることも回避することができます。

最後に、プリンストンの対応について「アルロン営業部が今まで関わったメーカーの中で一番手厚くサポートしてくれていると感じています。わからないことなどがあればいつでも即対応してくれます」と石田氏。福田氏も「グループ内の連携や情報共有の高度なインフラが出来上がったわけですから、どのような活用があるのかご提案いただくことを期待しています」と話します。

ひぐちグループ様が新システムをより有効に活用してさらなる発展の途を歩み続けられるよう、プリンストンは今後もあらゆる面からサポートを続けてまいります。

## ひぐちグループ様 ▶ 選定のポイント

- ▶ セッティングの容易さと優れた操作性
- ▶ 将来の店舗数の増加にも即応できる拡張性
- ▶ 会議参加者の表情も読み取れる高画質
- ▶ EdgeProtectが実現するセキュアな通信
- ▶ モバイル端末を活用した柔軟な情報伝達
- ▶ 会議録画・配信サーバーによる情報共有

販売代理店 株式会社マゴオリ 長崎支店 〒850-0046 長崎県長崎市幸町3番19号

取材時期:2017年6月

お問い合わせ

E-mail [dcs-info@princeton.co.jp](mailto:dcs-info@princeton.co.jp)

輸入販売代理店

株式会社プリンストン URL <http://www.princeton.co.jp/>

 **Polycom**  **PRINCETON**

PolycomおよびPolycomのロゴ、また、polycom, Inc.の米国およびその他の国における商標です。本紙に掲載している会社名と製品名は米国またはその他の国における商標登録です。本紙に掲載している製品写真は出荷時のものと一部異なる場合があります。本紙の本文内ではTMマークや®マークは明記していません。